

学校教育目標 《心を磨く》 《人に学ぶ》	
なわちゅう 暇中だより	四條市立四條暇中学校 令和7年8月26日（火）第6号 暇中校区の合言葉『みんなて「るるる」』
R7重点目標「みんな大事～『あたりまえ』にいいね！～」	



おかえりなさい！！

なが なつやす お こえ がっこう もど
長い夏休みが終わり、みなさんの声が学校に戻ってきました。
おかえりなさい！ さいわい おお じ じけんとう ま こ
おかしな、大きな事故や事件等に巻き込まれる
ことなく、暇中生みなさん無事に夏休みを過ごしたようで、本当に良かったです。
がっき しゅうぎょうしき ねが いのち からだ こころ だいじ まも
1学期の終業式にお願いした「命・体・心を大事に」を守ってくれましたね。
ありがとう。もう1つお話しした「具体的に、計画的に」はどうでしたか？何かや
りきることはできましたか？どんな夏を過ごしたのか、また教えてくださいね。

「点と点をつなぐこと」

You can't connect the dots looking forward; you can only connect them looking backwards. So, you have to trust that the dots will somehow connect in your future. You have to trust in something -- your gut, destiny, life, karma, whatever. This approach has never let me down, and it has made all the difference in my life.

しょうらい み す てん てん か こ ふ かえ と き はじ
「将来を見据えて点と点をつなぐことなどできません。過去を振り返った時に初めて点と点がつながるわけです。ですから、私たちは将来どこかでその点がつながると信じなければなりません。直感、運命、人生、カーマ（サンスクリット語で「愛」）、なんであれ、何かを信じる必要があります。私は、この生き方で後悔をしたことは一度もありません。自分の人生を大きく変えてくれたと思っています。」

スティーブ・ジョブズ（2005年、スタンフォード大学卒業式辞より）

この夏に、生成AIに関する話をいくつか聞きました。すごいなあ、便利だなあと感じる一方で、私たち人間は大丈夫？このままだとダメになるのでは？AIが席卷しつつある今後どうしていけばよいのか？など、いろいろと考えさせられました。



ある話の中で出てきた、スティーブ・ジョブズ（1955～2011年）の言葉がとても印象に残りました。彼は、米カリフォルニア州サンフランシスコ出身の実業家で、Appleの共同設立者の一人としても有名です。先の言葉は、彼が2005年に、スタンフォード大学の卒業式で行ったスピーチの一部です。



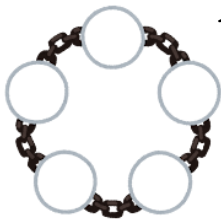
AIとうまく共存（道具として上手に活用）しながらも、私たち人間は、考え、判断し、選択し、表現していくことが大事です。そのためには、学んだり、経験したり、新しいことに挑戦したり、興味を持ったことを追求したりすることです。こうして得た知識や経験を組み合わせることで、新しいアイデアやイノベーションが生まれます。つまり、点と点をつなぐことで、将来の可能性を大きく広げることができるのです。

スティーブ・ジョブズは、「賢さとは、単に知識を多く持つことではなく、全体を俯瞰し、物事の関連性を見つけ出す能力のことであり、創造性とは、異なるものを結びつけることである」と述べています。



さあ、2学期も頑張りましょう！！

みなさんにも、この夏、たくさんの経験や学びがあったかと思います。今はまだそれらがバラバラなもので、1つの出来事にすぎないかもしれません。



この先の長い2学期には、修学旅行や校外学習、文化祭があります。日々の学級活動、委員会活動、クラブ活動、友だちとの何気ないやりとりがあります。これらの点と点が、いつかうまくつながって、みなさんの可能性が大きく広がっていきますように！

バスケットボール部

男子 優勝 女子 準優勝

交野・大東・四條畷三市大会(R7.8.5)



陸上部

第2位 4分24秒21

男子2・3年1500m 北河内地区中学校陸上競技記録会(R7.8.23)



女子テニス部

準優勝

大東・四條畷・交野3市中学生ソフトテニス大会(R7.8.23)

